



## HSMニュース

## タグボートによる衝突事故について。

今回は、非常に納得のいかない事案についてご紹介したいと思います。

最近の事案なのですが、積荷のためノルウェーの港に入港し、接岸すべくタグボートを待っていたところ、そのタグボートに衝突され外板に大きな損傷を受け、バラスタンク内もロンジを含め多くの損傷が確認され、航行不能な状態となりました。船級の臨時検査により、同地での恒久修理が必要である事を指摘され、直ちに修理の手配を進めました。

一方で、本事故については、完全な「もらい事故」であり、当然突っ込んできた相手方へ求償するところなのですが、相手がタグボートということで事情が全く変わってきてしまいます。

一般的に、責任制限や免責条項、ヒマラヤ条項が含まれた曳船契約や港ごとの標準約款が使われ、タグボート側が強力に保護されております。例えタグボート側に過失があったとしても、タグボート側は認めないため過失を立証しないといけず、結局争いになると時間とコストがかかることになり、長い時間と労力、弁護士費用などの多額の費用をかけても回収できるのは一部だけ、ということになるケースが殆どな為、現実的には求償は難しいということになります。今回のケースは、一方的に衝突されており、重大な過失に当たるのではないかと指摘しましたが、保険会社及び弁護士の見解としては、もちろん求償は可能だが、やはり経済合理性の観点からもタグ会社に求償して争うことはあまり得策ではないとのことでした。

船主殿としては、何の責任もない状況で、本船に損傷をあたえられ、多額の修理費用と長期間のoff-hireという大変大きな損害を被ることになり、我々管理会社としても非常に申し訳なく悔しい気持ちであり、到底納得できるものではありません。しかしながら、パイロットやタグボートに関わるこの様な事故の場合、基本的には本船(船主)の責任となってしまいますので、通常以上の細心の注意を払わないといけません。

この様な明らかにタグボート側の過失であっても、結局のところ経済合理性を考えるとタグ会社を求償することを諦めざるを得ないということになってしまいますので、皆様も十分ご注意ください。

(とはいえ、今回の当社のケースだと中々防ぎようは無いように思いますが...)

## PSC通報



本誌71号にて、久しぶりにPSCにDeficiencyを付けられたという事でこのPSC通報を掲載しましたが、なんと残念ながら本号でも再度取り上げることとなってしまいました。

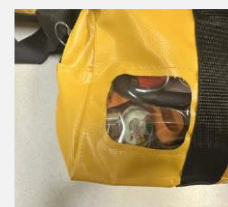
前回の掲載では、Emergency Lightの球切れというケアレスミスによるdeficiencyであり、この様なケアレスミス無くしていこうと宣言したばかりでありながら、今度もまたEEBDの圧力低下というケアレスミスによるdeficiencyでありました。

1ヶ月ほど前には技師による点検が行われており、また、乗組員による定期点検も実施しており、直近のチェックリストにおいても「Good condition」との記録があったのですが。。

出港までに時間もなかったのですが、取り急ぎ早急に新しい物を手配出来たので、直ちに是正する事ができましたが、今回のケースも本来防げたはずのケアレスミスによるDeficiencyであり、とても悔やまれます。

その後船内の全EEBDを再点検し問題ない事を確認させるとともに、改めて定期点検時の注意点を含め適切な実施を指示し、合わせて管理船他船にも展開して注意喚起致しました。

また、監督訪船時にも確実に確認することを社内で周知致しました。



このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していきます。

今回は、地元を数ヶ月紹介していなかったことへの2月と3月の禊期間(?)を終え、再び特別編として、出張先からのご案内です。

## くわ散歩 第24回:グルメな街、今治で楽しむお好み焼き「天照(アマテラス)」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣、また出張先などのオススメのお店や、まだ知られていない穴場など、様々なスポットを紹介いたします・・・が。

今回は久しぶりに出張先からご紹介です。おかげさまで今治へお邪魔する機会も増え、少しずつ道も覚えてきましたが、お店はまだまだわからず。ただ、今治はローカルなお店も多いようで、毎回の楽しみになっています。



今回訪れたのは、愛媛県今治市にある、広島風お好み焼き「天照(アマテラス)」さん(愛媛県今治市郷本町1-3-40)。

今治駅から車で約10分ほど、閑静な住宅街にあり、遠くはないものの、出張でふらっと立ち寄るには少し渋めの立地です。

今回は強力な助っ人、RitCHの営業代理店でもある海力株式会社のお久留さんにご案内いただき、訪れることができました。(いつも色々なお店を紹介頂いてありがとうございます！)



お店は鉄板のあるカウンター含めて16席とこぢんまりしていますが、とても落ち着ける雰囲気です。

こちらのお店はお好み焼きがメインですが、せっかく夜の訪問ということで、まずは一品ということで、牛タン鉄板焼き・・・！

見てくださいこの厚み。牛タンは厚切りが一番。焼き加減も丁度よく、乾杯をしつつ、ビールと共に頂きます。



間髪入れずにカキの鉄板焼きも到着。カキ自体も美味しいのですが、鉄板で絶妙な焼き加減のカキは、プリプリの食感も濃厚な味わいもたまりません。

右上の写真は、山芋と卵だけで作った生地に、ネギやすじこんの入った「ふあとろ焼き」です。普段「トリキ」や「セブンイレブンのお惣菜」の山芋鉄板焼きでも十分満足している私ですが、このお店のふあとろ焼きは、これまた絶品。ネギのうまみが特に引き立てられていて、あっという間に食べてしまいました。



そしてメインのお好み焼きが到着！種類も豊富で、肉・いか・えび・イカ天の「アマテラス焼き」や砂肝・イカ天・肉の「おのみち焼き」など、気になるメニューも多い中、この日、そばろ、大葉、半熟卵の「朧月(おぼろづき)」にしました。

これが・・・正解！優勝！大葉とそばろが他の具材と絡み合っって美味しいんです。そして、麺が絶妙。表面はしっかり焼かれてパリッと香ばしく、中は麺の食感が残っていて、このバランスがたまりません。気づけばあっという間に完食してしまいました。



オタフクのカッコいいロゴに高まる期待・・・！



ふあとろ焼きです



マヨネーズたっぷり・・・わかります！(写真使わせてもらいました)



お好み焼きはこの茶色系エナジードリンクに限ります

海力さんでは、夜だけではなくたまに昼食でもこのお店に来られるそうで・・・羨ましいです。

というわけで、今回は今治のお店をご紹介しました。まだまだ知らないお店ばかりですが、こうして一つずつ「当たり」に出会えるのが出張の楽しみです。

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

写真を見ていたら、気のせいかなソースの香りがしてきました。これで白米いけそうです。





## ピックアップ!

ここでは、私共が目にして気になった記事やニュース等を紹介させていただきます。  
海運に関する事や海運に関係なくても興味がわく様な内容の物を色々紹介していきたいと思います!

こんにちは!

今日は珍しく少し早目の時間から執筆作業に取り掛かっております。

もちろんシラフでやらせて頂いております。がしかし、なぜか逆に全然進みません... お酒を飲んでいない方が仕事が遅いとは...

ということで今日は、「遅い」に関する記事をピックアップしたいと思います。

### 「遅い」が生む損失は全員が理解しておいた方がいい

仕事の中においては、冒頭で述べた私の様に実際の作業が「遅い」というのもありますし、「判断」が「遅い」という問題も出てきます。仕事においてはどちらもとても重要ですよね。

そこでその様な「遅い」に関する記事の一部を抜粋・要約したものをご紹介します。

////////////////////////////////////

#### 判断が遅れると、予算が膨らむ

物語は「ある日突然、予算が1億円膨らみました」と僕が報告を受けるところから始まります。

それに対して僕は「予算が膨らむのは問題ない」「ただ、膨らむなら事前に逐一言ってもらわないと、かばいきれない」と言います。

僕みたいに一人で起業して、個人事業主で年商ウン億円というところまでは自分一人で営業して、稼いで...ということを経験してきた人間(※今はチームの皆でやっています!)というのは、「ある一定の期間で、自分がどれだけのお金を作れるか?」を把握しています。

僕は「いっちゃいましょう!」を合言葉にクリエイティブの予算を膨らませる常習犯なのですが、それは全て「振り込み日までに自分が追加でつくれるお金の範囲内で」予算を膨らませているんです。

ですが、他の誰かの意思によって「明日までに1億円」と言われちゃうと、やっぱりそれは対応できない。

特に僕らのチームは本業以外でも大型のプロジェクトを何件か走らせているので、支払いのタイミングが重なっちゃうと一発アウトです。

だから「膨らんだこと」を注意したわけではなくて、「膨らみ始めていること」を逐一報告してくれなかったことに対して、「いやいや、それは言ってよ」というのが僕の意見。

ただ、それはもう過ぎたことで、そんなことをチクチク言ったところで誰も助けてくれません。

事件は現在進行形で起きていて、今は試合中なので、とっとと気持ちを切り替えて、「予算の見直し」に入ったわけですが、ここで、僕は「判断が遅れると、予算が膨らむ」という発言をしております。

「遅い」が、どれだけの損失を生んでいるのか?ということ、ほとんどの人間は微妙に理解できていないんですが、ビジネスパーソンは絶対に理解しておいた方がいいと思います。

#### 「見積もり」を求めるあまり、タイミングを逃し、全ての売上を失う...

たとえば、一番手前の分かりやすいところから順に御説明させていただくと「機会損失」という言葉があります。

僕らの例でいうと、大阪万博が始まるタイミングで一瞬、僕らまわりで変なミヤクミヤクが顔を出したことがあります。ゴミだらけのミヤクミヤクです。僕らの中では「ゴミミヤク」と呼んでいたキャラクターなのですが、当然、ゴミミヤクはあのタイミングで仕掛ける予定で、あのタイミングで【限定一点のアートパネル】を作る予定だったんです。

ですが「見積もり」どうのこうので結局あのタイミングで売り出すことができませんでした。

今、このタイミングで見積もりがとれても、今から売り出すのはちょっと難しい。

これが単純な「機会損失」です。

「見積もり」を求めるあまり、タイミングを逃し、全ての売上を失う...という本末転倒です。

これを聞くと、「少々、業者から高くふっかけられようが、このタイミングで販売することの方が利益に繋がる」ということは御理解いただけると思います。

次ページへ続く

経営において、「止まること」のリスクは想像以上に大きい

次に、これは、チームをまわす上で「もっとも大切」といっても過言ではないのですが、経営者以外の、ほぼ全ての人間が絶妙に理解できていないことについて。

「見積もりで安いところを探す」という行為は、コストカットという面で“正解っぽく”見えるんですが、これは部分最適であって、経営全体の流れ(全体最適)で見ると、逆に損失を生むことがよくあるんです。

たとえば…

スタッフが1週間かけて数万円安い業者を見つけたとしても、その1週間で発注→販売→キャッシュイン→次の投資、という“お金の循環”が止まってしまえば、機会損失は数十万、場合によってはそれ以上になる。

何故なら、会社というのは、売上(正確には粗利)からスタッフを雇って、次の投資に繋げるので。

一週間でピンとこない方は、ここを10年間に置き換えてみてください。

10年間見積りをとり続けた時の損失ってとんでもないでしょ? 10年間売り上げを作らずに、スタッフを雇い続けるわけだから。つまり、「安く仕入れた」ことより、「お金を止めた」ことの方が圧倒的に高くつくわけです。

エンタメ制作の場合だと、「これをやりましょう!」と決めるタイミングが今なのか3ヶ月後なのかで全然違って、今決めたらならば、場合によっては今から売り出せるものがあるし、そこで出た売上げによって追加投資もできる。

さらには、今決めたらならば、残りの使えるお金も今決まるので、「どっちに転ぶか分からないから、どっちに転んでもいいようにとりあえず確保しておこう」というお金も、全て投資することができるので、機会損失が減るんです。

たとえば、イベントの場合だと、グッズのTシャツを100枚発注するのと、Tシャツを3000枚発注するのでは値段が変わってくるじゃないですか? この時、「まだ何も決まっていない」という状態であれば、「判断によっては、予算が膨らむ可能性がある」という状況下におかれるわけですから、「お金が払えなくなった時に備えて、Tシャツの発注は100枚に抑えておこう」と、せざるをえない。でも、蓋を開けてみれば、「予算が膨らまない判断だった」ということが往々にしてあるわけで、そこからTシャツを追加発注してもイベントには間に合わない。

結局、イベント当日にはTシャツを求める列に3000人並んでいるのに、在庫が100枚しかない…ということになってしまう。売り上げを作るタイミングが遅れたり、判断が遅れたりすると、次の投資の幅が大幅に狭まってしまう。

経営においては、「止まること」のリスクは想像以上に大きいんです。特にエンタメや企画系のビジネスは「回してなんぼ」。スピードとタイミングで勝負している以上、最も重視すべきは“回転率”です。

判断を後回しにするとロクなことがないんです。

////////////////////////////////////

いかがでしょうか?

「遅い」が大きな損失を生んでしまうということはビジネスの世界では往々にしてありますよね。

記事中にもあったように、私も常々ビジネスは「スピード」と「タイミング」だと口酸っぱく言っております。

しかしながらこれが中々思った様にいかないのもまたビジネスの現実でもあります…

記事にもありましたが、一生懸命安い見積りを探してもその間に絶好の「タイミング」を逃してしまうということや、丁寧に丁寧に時間を掛けてじっくり準備を進めていてやっと世に出せるとなった時には既に時遅し、類似の他社製品・他社サービスが蔓延してしまっている、なんてこともあると思います。

世の中は自分のペースに合わせてくれません。自分が合わせるんです。必要なタイミング・絶好のタイミングを逃さない様にしないとイケないのです。

記事前半にあった予算に関してのこともそうですが、支払い直前などとても遅いタイミングで「これだけ予算オーバーです」とか「最終的にこんな金額(高額)になってしまいました」なんて言われても本当に困ってしまいますよね。早目早目に状況報告してくれると助かるのですが…

私自身も、この記事を読んで改めて、ビジネスにおいては色々な「遅い」があり、この「遅い」が大きな損失を生んでいるということを肝に銘じておきたいと思いました。

ということで、シラフだと作業がとても「遅い」私は、ここでグビりっ一杯。🍷

今さら聞けない

## 海運基礎知識 「操練について」

今回は、「操練」について取り上げてみたいと思います。

船舶では、日々の安全運航を支える重要な取り組みとして「操練(ドリル)」が行われています。

船舶管理に携わっている方なら良くご存知と思いますが、そうでないと意外と知らない方も多いと思います。

### 「操練」って何？

操練(ドリル)とは、船内で発生しうる緊急事態に備えた訓練のことです。

船上における「防災訓練」であり、事故発生時に乗組員が迅速かつ的確に行動できるようにすることが目的です。

特に外航船は、一度航海に出ると直ぐに外部の支援を受けられない環境に置かれるため、何か事故が起きた時には全ての初動対応を乗組員自身で行う必要があるため、乗組員が十分理解しておかないといけません。

### なぜ「操練」が必要なの？

- ・人命を守るため。火災、衝突、浸水などの事故は、対応が遅れると重大な被害につながります。
- ・環境保護のため。油流出などの事故は海洋環境に深刻な影響を与えます。迅速な対応が被害拡大を防ぎます。
- ・国際条約で義務付けられているため。外航船は国際的な安全基準に従う必要があり、操練は法的にも必須です。SOLASやMARPOL、ISPSなどにに基づき定期的な実施と記録が求められます。

### どんな種類があるの？

各事故の状況を想定したさまざまな操練が行われます。

- ① 退船操練(Abandon Ship Drill) : 1ヶ月に1回以上
- ② 消火操練(Fire Drill) : 1ヶ月に1回以上
- ③ 防水操練(Flood Prevention) : 1ヶ月に1回以上
- ④ 油流出対応操練(Oil Spill Drill) : 1ヶ月に1回以上
- ⑤ 閉鎖区画侵入・救助訓練(Enclosed Space Entry and Rescue Drill) : 2ヶ月に1回以上
- ⑥ 救命艇・救助艇操練(Life boat & Rescue boat Drill) : 3ヶ月に1回以上
- ⑦ 非常操舵訓練(Emergency Steering Drill) : 3ヶ月に1回以上
- ⑧ 保安操練(Security Drill) : 3ヶ月に1回以上

また、船員交代などがあった場合にも操練を実施する必要があります。

### 操練における注意点は？

- ・実践に近い状況設定にする。「分かっている前提」で動く意味が薄れるので、リアルな初動を確認する。
- ・役割分担を明確にする。各自の持ち場・責任範囲を事前に理解させる。曖昧なまま開始すると混乱の原因になる。
- ・指揮命令系統を徹底する。事故発生時の適切な指揮命令が重要。誰が誰の指示で動くのかを明確にする。
- ・コミュニケーションを簡潔にする。特に多国籍クルーの場合、短く・明確な英語で伝達。曖昧な表現は誤解を招く。
- ・実際の機器の操作。見ているだけの訓練は効果が低い。消火設備や救命設備について操作方法をよく確認する。
- ・初動対応の遅れは致命的。通報・集合・対応開始までの時間を計測し、意識する。
- ・全員参加を徹底する。乗組員全員が各々の役割や行動を理解していないといけいないので全員参加を心掛ける。
- ・形骸化を防ぐ。毎回同じ内容・同じ流れにならないように、シナリオを変える工夫が必要。
- ・実施内容・問題点・改善策を記録。検査対応だけでなく継続的改善に活用する。「やって終わり」にしない。

以上、非常に簡単ではありましたが、「操練(ドリル)」について概要を説明させて頂きました。

外航船における操練は、人命を守る・環境を守る・船の安全を維持する、ためにも不可欠な取り組みです。

そして何より、「いざという時に体が適切に動く状態を作る」ことが最大の目的です。

日々の操練の積み重ねが、海上における安全を支えていると言えるでしょう。